

# 令和4年度 第3回 岩手県企業局経営評価委員会

令和5年2月7日（火）15:30～17:00

岩手教育会館カンファレンスルーム 200

## 次 第

### 1 開 会

### 2 あいさつ（森企業局長）

### 3 議 事

#### (1) 審議事項

令和4年度（実績見込み）の経営評価について

#### (2) 報告事項

① 次期売電契約について

② 令和5年度経営評価委員会の審議事項について

#### (3) その他

### 4 閉 会

#### 配付資料

資料1 令和4年度経営評価（実績見込み）の総括

資料2 令和4年度経営評価（実績見込み）総括表

資料3 次期売電契約について

資料4 令和5年度経営評価委員会の審議事項について

参考資料1 令和4年度取組内容一覧表

令和4年度 第3回 岩手県企業局経営評価委員会 出席者名簿

委員長	一関工業高等専門学校	あかし なおゆき 明石 尚之	
委員	いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社	あべ えいこ 阿部 瑛子	
〃	岩手県立大学総合政策学部	いづみ けいこ 泉 桂子	
〃	早稲田大学水循環システム研究所 株式会社群馬東部水道サービス	なみかわ すずむ 濤川 進	
〃	盛岡ガス株式会社	まつかわ けん 松川 顕	
企業局	局長	もり たつや 森 達也	
〃	次長兼経営総務室長	ささき しんいち 佐々木 真一	
〃	技師長	ふじわら きよと 藤原 清人	
〃 (経営総務室)	管理課長	ちば じゅんこう 千葉 順幸	
〃	予算経理担当課長	きくち のりふみ 菊地 教文	
〃 (業務課)	総括課長	やまや のりひこ 山谷 紀彦	
〃	事業担当課長	こがわ けんいち 古川 健一	
〃	電気課長	たかはし ひろし 高橋 浩	
〃	土木・施設担当課長	たや せいこ 田家 清子	
〃 (施設総合管理所)	施設総合管理所長	むらかみ としひろ 村上 敏弘	
〃 (県南施設管理所)	県南施設管理所長	むろつき あつし 室月 敦	
事務局	経営総務室 経営企画課長	いとう たかゆき 伊藤 隆行	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	おぼら じょう 小原 穰	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	まつもと じゅん 松本 潤	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任	なかむら けいすけ 中村 圭佑	
〃	経営総務室 経営企画担当 主事	かつら まさゆき 桂 誠之	
〃	経営総務室 管理担当 特命課長	ほそかわ ひろもと 細川 普基	

(委員 50 音順 敬称略)

出席者数 22 名

令和4年度 第3回 岩手県企業局経営評価委員会 タイムスケジュール

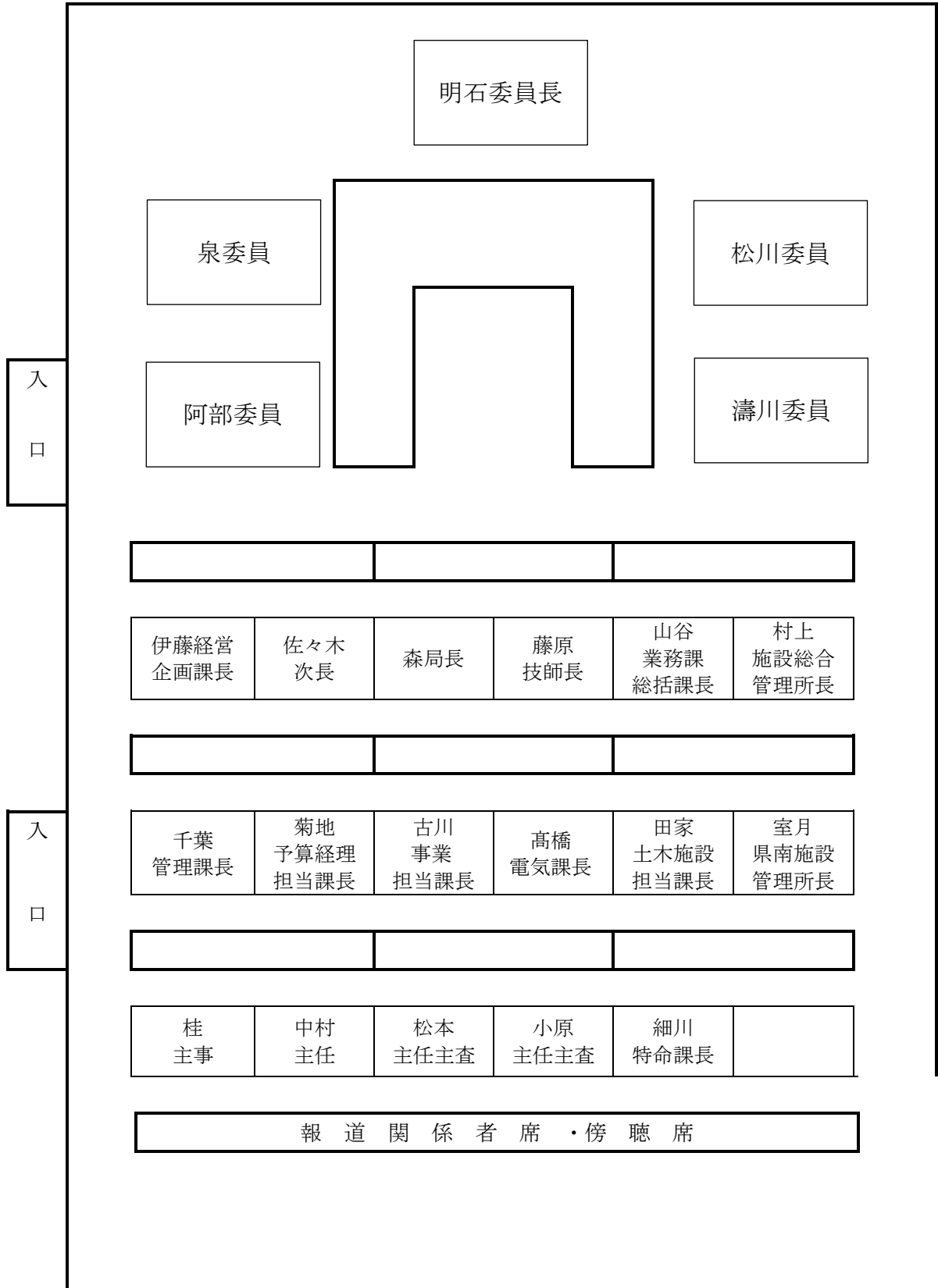
令和5年2月7日(火) 15:30 ~ 17:00

内 容	予定時間	備考
1 開 会 2 挨 拶	15:30 ~ 15:40	
3 議 事	15:40 ~ 16:55	
4 閉 会	16:55 ~ 17:00	

令和4年度 第3回 岩手県企業局経営評価委員会 座席表

令和5年2月7日（火）15：30～17：00

岩手教育会館カンファレンスルーム200



## 令和4年度 取組状況（実績見込）の総括

### 1 電気事業

湯田ダムの水位制限などの影響により供給電力量は計画値を下回る見込みですが、適正な電力料収入を確保しており、経常収支比率は経営目標を達成できる見込みです。また、再生可能エネルギーの維持拡大に向け、再開発事業を実施していた稲庭高原風力発電所が営業運転を開始したほか、水力発電の開発可能性調査等の再精査を進めるなど、概ね計画どおり進みました。

#### 【主な成果等】

- (1) 「運転年数 100 年」を実現するための基盤づくりについては、安定供給の目安となる供給電力量の目標達成に向けて、計画的な施設の修繕・改良に取り組んでいます。  
 また、各種ドローンを活用した土木施設の点検や、IoT 技術を活用した電気・機械設備のデータ収集などを試行しました。  
 さらに、9月に仙人発電所建屋の耐震化工事が完成し、これをもって、全ての発電所建屋の耐震化が完了しました。
- (2) 再生可能エネルギーの維持拡大については、稲庭高原風力発電所が7月1日に営業運転を開始し、順調に発電しています。また、水力発電の新規開発に向け、6か所の開発可能性調査を進めており、その結果をもって概略設計などを実施する地点を選定します。

指標一覧

(1) 「運転年数 100 年」を実現するための基盤づくり		R4目標値	年度末実績見込	達成度
経営目標	供給電力量(百万 kWh)	594	(558)	B
	発電所建屋等の耐震化率(%)	100	100	A
	電力土木施設の耐震診断進捗率(%)	95	92	B
取組内容	成果状況：12項目中 a 10項目(83%) b 2項目(17%) c なし			
(2) 再生可能エネルギーの維持拡大		R4目標値	年度末実績見込	達成度
経営目標	新規開発・再開発による供給電力量(千 kWh)	12,699	(10,397)	B
取組内容	成果状況：6項目中 a 5項目(83%) b 1項目(17%) c なし			
(3) 経営環境の変化に対応した安定経営		R4目標値	年度末実績見込	達成度
経営目標	経常収支比率(%)	127	(129)	A
取組内容	成果状況：6項目中 a 6項目(100%) b なし c なし			

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上 100%未満、C：60%以上 80%未満、D：60%未満

注) 成果状況 a：目標とした成果を達成した b：(複数の取組目標を設定している場合)a 判定のもと c 判定のものが両方ある場合  
 c：目標とした成果を達成できなかった

#### 【主な課題と今後の対応】

世界的な半導体等の不足による部品納期の長期化などにより、一部工事で工期の見直しが必要になっています。機器の状態を勘案しつつ、施工内容及び施工時期を適切に設定し、工事、委託等の発注管理、進捗管理をしていきます。

また、令和4年度版の年度別事業実施計画（10か年計画）を策定して以降、物価高騰の影響により大規模改良・修繕工事に要する費用が増加傾向にあるため、令和5年度版の策定に向け、今後の収支に及ぼす影響を把握し、収支の平準化を検討していきます。

さらに、より安全かつ効率的な保守管理の実現に向け、新技術（AI・IoT、ドローンなど）の活用について検討を進めます。

## 2 工業用水道事業

入札不調や資材納期の長期化などの影響を受けて先送りした工事等はあるものの、計画的な点検等の実施や故障した設備の早期復旧など適切な保守管理に努めており、良質な工業用水を安定的に供給しています。なお、電気料金の高騰により経常収支比率は経営目標が未達となる見込みです。

### 【主な成果等】

- (1) 良質な工業用水の安定供給については、維持管理要領に基づく計画的な点検等の実施や故障した設備の早期復旧など適切な保守管理に努めており、**安定供給を確保**しています。
- (2) 新たな水需要への対応については、**令和4年度内の新北上浄水場第1期建設工事完成**に向け、試運転や調整作業等を進めました。



- (3) **安定的な事業運営**については、水需要の動向を踏まえた**金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジングによる経費の縮減**に向けて、**電気設備の更新工事**や**配水池の改良**に向けた設計を進めています。

指標一覧

(1) 良質な工業用水の安定供給		R4目標値	年度末実績見込	達成度
経営目標	供給停止件数(件/年)	0	(0)	<u>A</u>
取組内容	成果状況：8項目中 a 7項目(88%) b 1項目(12%) c なし			
(2) 新たな水需要への対応				
取組内容	成果状況：1項目中 a 1項目(100%) b なし c なし		※経営目標・参考指標設定なし	
(3) 安定的な事業運営		R4目標値	年度末実績見込	達成度
経営目標	経常収支比率(%)	109	<u>(102)</u>	<u>B</u>
取組内容	成果状況：5項目中 a 5項目(100%) b なし c なし			

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上 100%未満、C：60%以上 80%未満、D：60%未満  
 注) 成果状況 a：目標とした成果を達成した b：(複数の取組目標を設定している場合)a 判定のもと c 判定のものが両方ある場合  
 c：目標とした成果を達成できなかった

### 【主な課題と今後の対応】

**新北上浄水場第1期建設工事**は、**令和5年4月からの一部給水開始**に向け、引き続き、**全体工程の管理を徹底**します。

また、給水開始後の**新北上浄水場維持管理体制の構築**、**第2期建設工事の着工**に向けた準備を進めます。

さらに、業務の合冊発注などによって業務の効率化と経費削減を図りつつ、**適正規模な施設へのダウンサイジングを進め、安定的な事業運営となるよう努めます。**

### 3 組織力向上と地域貢献

新型コロナウイルス感染症の動向に配慮しつつ、概ね計画どおり進めました。

#### 【主な成果等】

(1) 組織力の向上については、**1名が第二種電気主任技術者免状の交付を受けました。**

働き方改革ロードマップに基づく各取組を進め、電子決裁・文書管理システムの運用を開始したほか、ペーパーレス会議の拡大、メンタルヘルス巡回相談の実施、サテライトオフィスの設置など、職場環境の充実に図りました。

また、危機管理対策については、新たに3発電所の災害時応急対策協定を岩手県建設業協会と締結したことにより、全ての発電施設の応急対策業務に係る協力体制を構築しました。

さらに、みずりん・みどりんお知らせ隊を組織し、イベントなどの機会企業局事業のPRを行ったほか、みずりん・みどりんグッズや施設カードを活用したPR事業にも取り組んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、施設見学者数は例年の半数近くまで回復する見込みです。



(2) 地域貢献については、「いわて復興パワー」による**電気料金の割引**や「いわて復興パワー水力プレミアム」及び「アマリングリーンでんき」を通じた**CO<sub>2</sub>フリー電力の供給を継続**しています。特に、いわて復興パワーは、多くの県内事業者様に活用いただいております。エネルギー価格が高騰する現状において、電気料金の割引という形で地域に貢献しています。

温室効果ガスの削減目標の達成に向けて、クリーンエネルギー導入支援事業では14事業、植樹活動支援事業では14件の植樹活動をする見込みです。

指標一覧

(1) 組織力向上		R4目標値	年度末実績見込	達成度
経営目標	第二種電気主任技術者 新規資格取得者数(人)	4	6	A
	第一種ダム水路主任技術者 新規資格取得者数(人)	1	2	A
取組内容	成果状況：11項目中 a 11項目(100%) b なし c なし			

注) 経営目標は計画期間(R2~R5)の累計値

(2) 地域貢献		R4目標値	年度末実績見込	達成度
経営目標	地域貢献事業による温室効果ガス削減量(t以上/年)	120以上	(153.6)	A
取組内容	成果状況：6項目中 a 5項目(83%) b 1項目(17%) c なし			

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上 100%未満、C：60%以上 80%未満、D：60%未満

注) 成果状況 a：目標とした成果を達成した b：(複数の取組目標を設定している場合)a 判定のもの c 判定のものが両方ある場合  
c：目標とした成果を達成できなかった

#### 【課題と今後の対応】

(1) いわて復興パワーによる電気料金の割引については、需要家の負担軽減に寄与することができるよう、東北電力株式会社と適用の拡大に向けた協議を継続します。

(2) いわて復興パワー水力プレミアムについては、企業局から供給する電力量を上限として運用していますが、供給可能量に余裕があるため、東北電力株式会社や関連部局と連携しながらPRに取り組み、活用促進を図っていきます。

1 電気事業

(取組の方向性) (1)「運転年数100年」を実現するための基盤づくり

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
供給電力量(百万 kWh)	計画	222	125	347	111	136	594	<u>B</u>
	実績	218	176	394	(70)	(93)	(558)	
	達成率	98%	140%	113%	(64%)	(69%)	(94%)	
発電所建屋等の耐震化率(%)	計画	100	100	100	100	100	100	<u>A</u>
	実績	95	100	100	<u>100</u>	<u>100</u>	<u>100</u>	
電力土木施設の耐震診断進捗率(%)	計画	86	86	86	86	95	95	<u>B</u>
	実績	86	89	89	<u>92</u>	<u>92</u>	<u>92</u>	

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上100%未満、C：60%以上80%未満、D：60%未満

参考指標 (H22-30 平均)	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]水力発電所の供給停止件数(件/年)	3	2	2	4	<u>2</u>	<u>(0)</u>	<u>(6)</u>
[参考] 〃 の供給停止時間(時間/年)	68	363	192	555	<u>1,053</u>	<u>(2,160)</u>	<u>(3,768)</u>
[参考] 〃 の供給停止電力量(百万 kWh/年)	0.055	0.645	0.513	1.158	<u>7.112</u>	<u>(3.841)</u>	<u>(12.111)</u>

【特記事項】

- ① 水力、風力及び太陽光の合計の供給電力量は、国道107号法面変状対策に伴う湯田ダム（仙人発電所）の水位制限の影響などから **558 百万 kWh**、達成率は **94%**と計画値を **下回る見込み**です。
  - 1) 水力発電の供給電力量は **93%**と計画値を下回る見込みです。
  - 2) 風力発電の供給電力量は **106%**と計画値を上回る見込みです。
  - 3) 太陽光発の供給電力量は **120%**と計画値を大きく上回る見込みです。
  - 4) 供給停止は、胆沢第二、入畑(2件)、北ノ又第二、御所発電所及び仙人発電所において計 **6**件発生しました。
- ② 発電所建屋等の耐震化率について、**仙人発電所建屋の耐震化工事が9月に完成**しました。これをもって**全ての発電所建屋の耐震化が完了**しました。
- ③ 電力土木施設の耐震診断について、3施設の耐震診断を予定していましたが、四十四田発電所取水塔は国土交通省が進めている北上川上流ダム再生事業（四十四田ダム嵩上げ）の影響を受けることから今年度の実施を見送ることとしました。岩洞第二発電所水圧鉄管は過年度に実施済みであり、岩洞第二発電所水管橋は12月に**業務が完了**しました。



令和4年度 経営評価総括表 [実績見込]

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 年度別事業実施計画に基づく修繕・改良等の実施	/	b	③	ア-1 新技術の導入 (IoT)	/	a
	イ 電力土木施設等長寿命化対策	/	a		ア-2 新技術の導入 (ドローン)	/	a
	ウ-1 耐震化計画の推進 (発電所建屋の耐震化工事)	/	a	④	ア 農業用水の安定供給に向けた機能維持	/	a
	ウ-2 耐震化計画の推進 (電力土木施設の耐震診断)	/	a		イ 河川管理者等との連携	/	a
②	ア 適切な保守作業の実施	/	a	ウ 発電所共同運転事業者との連携	/	a	
	イ 風水害への備え	/	b				
	ウ マニュアル等の見直し	/	a				

注) 成果状況 a: 目標とした成果を達成した b: (複数の取組目標を設定している場合)a 判定のものと c 判定のものが両方ある場合  
c: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- 世界的な半導体等の不足の影響により部品の納期が長期化するなど、**一部の工事で工期の見直し等が必要**となっておりますが、**機器の状態を勘案して、適切な時期に施工できるよう対応**しながら、修繕・改良工事等を進めました。
  - ・仙人発電所1、2号水車発電機分解点検補修及び大規模改良工事 (R3~R5) : 令和4年度内に2号機が完成見込み
  - ・松川発電所水車発電機分解点検補修工事 (R4~R6) : 契約締結し機器設計中
  - ・北ノ又発電所配電盤及び33kVキュービクルほか更新工事(R3~R5) : 機器設計・製作中
  - ・北ノ又第二発電所配電盤ほか更新工事(R4~R6) : 今年度発注を取りやめ、令和5年度に施工内容・期間を再検討
  - ・北ノ又第二発電所33kV連絡線更新工事 (R3~R5) : 機器設計・製作中
  - ・施設総合管理所大物倉庫等建替工事 : 令和4年度内完成見込み
  - ・県南施設管理所増築工事 : R4.10 完成
- 電力土木施設の長寿命化に関する検討会議において、発電所建屋以外の電力土木施設の耐震化スケジュール等について検討を行いました。**また、電力土木施設の長寿命化対策として補修設計及び点検業務を実施しました。**
  - ・仙人発電所コンクリート構造物補修設計業務 : R5.2 完成見込み
  - ・岩洞第二発電所濁川サイフォン内外面点検業務 : R5.1 完成

② 適切な保守管理

- 年間作業停止計画表に従い、発電所の定期点検作業等を実施しています。なお、作業の安全性等の確認のため、**計4回の電気主任技術者による指導 (保安パトロール) を実施**しました。
- 年間スケジュールに基づき、工事等に伴う河川法手続き及び協議を随時実施しました。
- 風水害への備えとして、各事業所において、**5発電所 (松川、柏台、胆沢第二、胆沢第三、胆沢第四) における自然災害による被災の危険性がある個所の追加調査を実施したほか、以下工事を実施**しました。
  - ・北ノ又発電所構内排水施設等改良工事 : R4.12 完成
  - ・北ノ又第二発電所地すべり対策復旧工事 : 降雪により施工が困難となったことから令和5年度に繰越し
- 第2回電力土木施設の長寿命化に関する検討会議 (10月20日開催) において、**長期の発電停止を必要とする導水路内部点検周期の延長などについて検討**しました。

③ 新技術の導入

- 1) IoT・AI技術の活用については、既存の集中監視制御システムでは遠隔監視していないデータの収集とそれらを活用するため、試験的に簡易なクラウドシステムを構築しました。また、設備点検記録の効率的な管理・活用に向け、試験的にタブレット点検表を導入しました。
- 2) ドローンの活用による保守業務の効率化の可能性について検討するため、10月13日に北ノ又第二発電所導水路にて水面ドローン、10月17日に岩洞第一発電所調圧水槽にて垂直ドローンを使用した調査を実施し、有効性などの検証を進めています。

④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携

- 1) 農林水産省や土地改良区と連携して施設の運営及び維持管理に努め、農業用水の安定供給を継続しました。
- 2) 岩洞ダム共有施設の改良工事（国営岩手山麓農業水利事業）は、随時、工事進捗状況などを確認するとともに、令和7年度の完成に向け、岩手山麓農業水利事業所と工程等の協議を行いながら計画的に工事を進めました。また、若柳堰堤ゲート自動制御装置更新工事は、部品の納入が遅れたことにより2か月程度の遅延が生じましたが、令和5年2月に工事が完成する見込みです。
- 3) 北上川上流ダム再生事業に伴う発電所への影響について、7月5日に北上川ダム統合管理事務所と今年度の調査内容について協議したほか、8月8日に北上川ダム統合管理事務所と合同で岩洞第二発電所の現地調査を実施しました。また、令和5年2月には今年度の進捗状況の確認や今後の予定について協議します。
- 4) 地域貢献の一環として、6月2日及び3日に湯田ダムの共同利水事業者3者（企業局、東北自然エネルギー株式会社、岩手中部土地改良区）で和賀川河川環境保全事業（アユの稚魚放流）を実施しました。また、和賀川の河川環境調査を実施し、魚類の生育環境の状況を確認したほか、和賀川河川環境保全連絡会（国、県、市、漁協、土地改良区、発電所共同運転事業者）を設立し和賀川の河川環境の保全に関する情報交換を行いました。

(3) 主な課題と今後の対応

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- 1) 機器の状態を勘案しつつ、施工内容及び施工時期を適切に設定し、工事等の発注管理、進捗管理をしていきます。
- 2) 風水害への備えとして進めてきた北ノ又第二発電所地すべり対策復旧工事は、本格的な台風シーズン前の完成を目指します。

② 適切な保守管理

- 1) 令和4年度中に、全発電施設を対象とした自然災害時における危険個所の追加調査を実施する予定でしたが、対象施設が多いことから、令和7年度までに計画的に進めます。
- 2) 河川法手続きは、該当する工事等のスケジュールに合わせて適宜手続きを進めます。

③ 新技術の導入

- 1) 今年度試験的に構築したクラウドシステムやタブレット点検表を基に、発電所機器の詳細データの可視化と分析による保守の高度化・効率化の効果を検証していきます。
- 2) 活用可能な設備規模を見極めるため、引き続き他の施設で鉄管ドローン、垂直ドローン及び水面ドローンによる土木施設調査を試行し、本格運用に向けた検討を進めます。

④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携

岩洞ダム共有施設の改良工事は、引き続き、岩手山麓農業水利事業所と工事の進捗状況等について協議・調整を行い、令和5年度に計画している工事の完成を目指します。

令和4年度 経営評価総括表 [実績見込]

1 電気事業

(取組の方向性) (2)再生可能エネルギーの維持拡大

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
新規開発・再開発による 供給電力量(千 kWh)	計画	3,573	3,344	6,917	3,189	2,593	12,699	B
	実績	2,719	3,083	5,803	1,990	(2,604)	(10,397)	

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上 100%未満、C：60%以上 80%未満、D：60%未満

【特記事項】

築川発電所 (R3.7 運転開始) は、流入量が少なかったため、供給電力量が計画を下回る見込みです。また、稲庭高原風力発電所 (R4.7 運転開始) は、運転開始が当初の計画から遅れたため、供給電力量が計画を下回る見込みです。

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	イ-1 新規開発に向けた調査等(水力発電)	/	a	②	ア 胆沢第二発電所の再開発	/	b
	イ-2 新規開発に向けた調査等(水力発電以外)	/	a		イ 入畑発電所の再開発	/	a
					ウ 稲庭高原風力発電所の再開発	/	a
					エ 再開発の検討	/	a

注) 成果状況 a：目標とした成果を達成した b：(複数の取組目標を設定している場合)a判定のものとc判定のものが両方ある場合

c：目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 新規開発の推進

- 水力発電の新規開発に向け、**6地点の開発可能性調査を進めており、その結果をもって、概略設計などを実施する地点を選定**します。また、南本内地点ほか1地点において河川流量調査を行いました。
- 公営電気事業経営者会議等を通じ、新規開発に対する支援制度等の情報収集を行ったほか、新規開発を取り巻く課題への対応を国に要望しました。
- 経営戦略検討チームにおいて、「**温室効果ガス排出量 2050年実質ゼロ**」に向けた具体的な開発計画・投資計画の検討を行いました。

② 再開発の推進

- 稲庭高原風力発電所再開発事業**においては、法定検査や電力供給契約の締結など、必要な手続きを進め、**7月1日に営業運転を開始**し、順調に発電しています。
- 胆沢第二発電所・入畑発電所電気設備更新工事は、全体工程に沿って、設備の詳細仕様の検討及び水車発電機基礎の撤去・再構築に係る詳細設計を進めました。
- 胆沢第二発電所代替放流設備設置工事のうち土木工事は、現地工事に着手し、概ね計画どおりに進めました。また、機械電気設備工事は機器製作に向けた設計及び製作を進めました。

(3) 主な課題と今後の対応

① 新規開発の推進

1) 経営戦略検討チームにおいて取りまとめた「温室効果ガス排出量 2050 年実質ゼロ」を見据えた具体的な開発計画・投資計画を令和5年度に策定する第2期中期経営計画に掲げ、目標達成に向けた取組を進めます。

2) 水力発電の新規開発に向け、今年度選定した地点については、来年度以降、概略設計などを進めます。また、引き続き、新規水力発電の開発可能性調査を実施します。

② 再開発の推進

胆沢第二発電所代替放流設備設置工事は、農業用水の供給に支障が生じないよう、令和5年度の既設水車発電機等撤去工事開始までの完成を目指し工事を進めます。

令和4年度 経営評価総括表 [実績見込]

1 電気事業

(取組の方向性) (3)経営環境の変化に対応した安定経営

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(%)	実績(%)	達成度
経常収支比率	127	(129)	A

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上 100%未満、C：60%以上 80%未満、D：60%未満

【特記事項】

なし

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 適正な売電価格の確保	/	a	②	ア 業務の効率化	/	a
	イ-2 供給電力量の向上に向けた取組 (高効率機器の導入)	/	a		イ 経費の平準化	/	a
	ウ 地域新電力との協働・連携	/	a	③	電力の新たな付加価値に関する情報収集等	/	a

注) 成果状況 a：目標とした成果を達成した b：(複数の取組目標を設定している場合)a判定のもの c判定のものが両方ある場合

c：目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 適正な収入の確保

- 容量市場における令和6年度分の電力供給について、容量停止計画の調整を行いました。また、令和8年度分の電力供給について、容量市場メインオークションに**応札し、全ての容量が約定**となりました。
- 電力供給契約に基づき、毎月の電力量認定及び契約先への非FIT電源非化石証書の受け渡しを適切に行いました。
- 東北電力(株)のプロポーザル提案事項に基づき、技術交流会を開催し、水力発電所における災害時の対応と復旧体制や、IoTの導入状況などについて情報交換を行いました。
- 令和6年度以降の非FIT電源の売電契約に向けて、プロポーザルにおける県内枠の参加資格要件を緩和する方針としました。
- 供給電力量の増加に向け、仙人発電所1、2号水車発電機分解点検補修及び大規模改良工事(R3~R5)において、最新式の水車ランナへの更新を進めました。また、四十四田発電所において、ダム管理者である国土交通省と共同で、洪水後期の放流を有効に活用する取組を試行しました。

② 経営の効率化

- 業務の効率化を目的として、技術担当課長会議において「IoT・AI技術の活用」を特定課題に選定し、検討グループを設置しました。また、有用な技術について情報収集し、導入する際の仕様検討を行いました。
- 収支の平準化に向けて、令和4年度版の年度別事業実施計画(10か年計画)を策定しました。

③ 電力の新たな付加価値の検討

令和5年度の電力供給契約の締結に向け、公営電気事業経営者会議を通じて他県の電力供給契約に関する情報を収集し、新たな制度への対応状況について分析を行いました。

(3) 主な課題と今後の対応

令和4年度版の年度別事業実施計画(10か年計画)を策定して以降、**物価高騰などの影響により大規模改良・修繕工事の費用が増加傾向**にあるため、令和5年度版の策定に向け、**今後の収支に及ぼす影響を把握し、収支の平準化を検討**していきます。

令和4年度 経営評価総括表 [実績見込]

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (1)良質な工業用水の安定供給

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
供給停止件数(件)	計画	0	0	0	0	0	0	A
	実績	0	0	0	0	(0)	(0)	

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上 100%未満、C：60%以上 80%未満、D：60%未満

※供給停止件数については、目標値を達成した場合はA、達成しなかった場合はD

参考指標	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年平均
[参考]工業用水の濁度(度)《供給規定15度以下》	0.6	0.5	0.5	0.5	0.6	(0.5)	(0.5)
[参考]工業用水の水素イオン濃度(pH)	7.0	7.02	7.03	7.03	7.02	(7.02)	(7.02)

【特記事項】

維持管理要領に基づく計画的な点検等の実施や故障した設備の早期復旧など、適切な保守管理に努めており、**良質な工業用水を安定的に供給**しています。

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	イ 第二浄水場配水管布設工事	/	a	②	ア 適切な保守作業の実施	/	a
	ウ 第二浄水場天日乾燥床増設工事	/	a		イ 適切な水質管理の実施	/	a
	エ 金ヶ崎ろ過施設(第二期) 高圧受電設備更新等	/	a		ウ トラブル発生時の対応	/	a
	オ その他修繕・改良工事等	/	b	③	新技術導入の検討	/	a

注) 成果状況 a：目標とした成果を達成した b：(複数の取組目標を設定している場合)a判定のもとc判定のものが両方ある場合

c：目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- 令和2年度及び令和3年度に発生した北上ろ過施設の漏水事故は、令和4年5月に本復旧工事が完了しました。
- 大手半導体企業の工場用地造成に伴う北上市道の払い下げ手続きが整わず、関連する配水管布設工事を取り止めた。
- 入札不調や資材納期の長期化などによって一部修繕工事の発注が困難となったため、機器の状態を考慮しつつ、令和5年度以降に先送りしました。

[第一浄水場]

- 配水管(1-7工区)布設工事 ⇒ 取り止め(R5以降公告予定)

[第二浄水場]

- 配水管布設(1-3工区)工事 ⇒ R5.3完成予定
- 天日乾燥床増設工事 ⇒ R5.3完成予定

[第三浄水場]

- 配水管(1-7工区)布設工事 ⇒ 取り止め(R5以降公告予定)

[北上ろ過]

- 導水管本復旧工事 ⇒ R3.11.18契約(R3繰越工事)、R4.5.31完成

[金ヶ崎ろ過]

- 第二期高圧受電盤設備更新等工事 ⇒ R5.2完成予定

② 適切な保守管理の実施

- 1) 維持管理要領に基づき計画的な点検及び作業を実施しました。
- 2) 良質な工業用水の安定供給に向け、水質異常時の対応訓練、油流出事故防止活動やトラブル対応訓練を実施する予定です。

③ 新技術の導入

特定課題検討グループにおいて、工水事業へのIoTやAIなどの新技術の導入展開について検討しています。

(3) 主な課題と今後の対応

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- 1) 工事・委託が計画どおりに完了するよう、適切な時期の発注、工期の確保及び適切な工程管理に努めていきます。
- 2) 北上市道の払下げ後、関連する配水管布設工事を進めていきます。
- 3) 令和5年度以降に先送りした工事は、年度別事業実施計画（10か年計画）を適切に見直し、対応していきます。

② 適切な保守管理の実施

改修工事等を踏まえ、必要に応じて維持管理要領の見直しを進めます。

③ 新技術の活用

ドローンを活用した建設工事現場の進捗管理（写真撮影）や建築設備の年次点検を引き続き実施します。また、特定課題検討グループにおいて、新技術の導入や他事業者の今後の動向について情報収集等を行います。

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (2)新たな水需要への対応

(1) 経営目標、参考指標の状況

設定なし

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容	進捗	成果
施設・設備の整備		a

注) 成果状況 a: 目標とした成果を達成した b: (複数の取組目標を設定している場合)a 判定のものと c 判定のものが両方ある場合  
c: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

**新北上浄水場の整備**については、若干の遅れが生じていたものの、各工種の工程調整などを行い、取水設備及び浄水設備の試運転や調整作業等を進めた結果、**第1期建設工事は年度内に完成する見込み**です。

[浄水場建設事業] (工期: R1~R4)

- ・土木(第一期)工事 ⇒ R5.3 完成予定
- ・建築工事 ⇒ R4.10.27 完成
- ・建築工事監理業務委託 ⇒ R5.3 完成予定
- ・機械設備(第一期)工事 ⇒ R5.3 完成予定
- ・電気設備(第一期)工事 ⇒ R5.3 完成予定

[取水口建設事業] (工期: R2~R4)

- ・取水口建設土木工事 ⇒ R5.3 完成予定
- ・取水ポンプ棟建築工事 ⇒ R5.3 完成予定 (R3 年度出来高繰越分 R4.6 完了)
- ・建築工事監理業務委託 ⇒ R5.3 完成予定
- ・取水口建設機械設備工事 ⇒ R5.3 完成予定
- ・取水口建設電気設備工事 ⇒ R5.3 完成予定 (R3 年度出来高繰越分 R4.9 完了)

[配水管布設] (工期: R2~R4)

- ・配水管布設工事(第2工区) ⇒ (繰越工事) R4.6.30 完成
- ・配水管布設工事(第1工区) ⇒ R5.2 完成予定 (R3 年度出来高繰越分 R4.9 完了)
- ・配水管布設工事(第3工区) ⇒ R5.3 完成予定

(3) 主な課題と今後の対応

- 1) 新北上浄水場建設工事、取水口建設工事及び配水管布設工事は、**令和5年4月からの一部給水開始に向け、引き続き、全体工程の管理を徹底**します。
- 2) 給水開始後の**新北上浄水場維持管理体制の構築、第2期建設工事の着工に向けた準備**を進めます。



令和4年度 経営評価総括表 [実績見込]

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (3)③安定的な事業運営

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(%)	実績(%)	達成度
経常収支比率	109	(102)	B

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満

【特記事項】

資源価格の高騰に伴う電気料金の値上がりにより営業費用が増加したため、経営目標は未達となる見込みです。

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 業務の効率化	△	a	②	ア 契約水量の維持・増量に向けた取組	△	a
	イ 経費の平準化	△	a		イ 改良費に対する補助金や公営企業債の要望	△	a
	ウ 効率的な経営のあり方についての検討	△	a				

注) 成果状況 a: 目標とした成果を達成した b: (複数の取組目標を設定している場合)a判定のもの c判定のものが両方ある場合

c: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 経営の効率化

- 複数施設の委託業務等を合冊発注し、業務の効率化と経費節減を図りました。
- 長期的な収支を考慮した年度別事業実施計画の見直し作業を進め、工事・委託等の経費の平準化を図りました。
- 効率的な経営の在り方についての検討に関しては、**ダウンサイジングによる経費の縮減**に向けて、**金ヶ崎ろ過施設(第二期)電気設備の更新工事や配水池の改良設計**を進めました。

② 適切な収入の確保

- 契約水量の維持・増量に向けた取組として、17 者のユーザーを訪問し、使用水量の動向などについて意見交換しました。また、1件の契約水量の増量申込に対応しました。
- 国に対し、工業用水道施設の新規整備や既存施設機能強化等に対する補助金や公営企業債などの**財政支援を要望**しました。
- 補助金を活用して第二浄水場の一部既設配水管の更新を行っています。また、令和5年度の補助金の申請に向けた手続きを進めました。

(3) 主な課題と今後の対応

① 経営の効率化

**金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジング**は、電気設備の更新や配水池改良の設計業務等を通じて、**より効率的な施設整備を進めていきます。**

② 適切な収入の確保

- 新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響など、**ユーザー企業の実使用水量の動向を注視するとともに、関係部局と連携しつつ、新規立地企業への給水に向けた情報収集や対応**を行っています。
- 補助金や公営企業債に関する国の動向等を注視しながら、引き続き、適時適切な要望等を行っています。

令和4年度 経営評価総括表 [実績見込]

3 組織力向上と地域貢献

(取組の方向性) (1)組織力向上

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	3/4	4/4	年間	達成度
第二種電気主任技術者 新規資格取得者数(人) (※計画期間(R2~R5)累計)	計画	4				4	A
	実績	6	6	6	(6)	(6)	
第一種ダム水路主任技術者 新規資格取得者数(人) (※計画期間(R2~R5)累計)	計画	1				1	A
	実績	1	1	1	(2)	(2)	

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上 100%未満、C：60%以上 80%未満、D：60%未満

参考指標	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]第二種電気主任技術者有資格者数(人)	6	6	6	6	6	(6)	(6)
[参考]第一種ダム水路主任技術者有資格者数(人)	6	8	8	8	8	(9)	(9)
[参考]専門研修受講者数(人)	412	51	100	151	77	161	(389)
[参考]職員満足度調査における満足度(%)	79						
[参考]企業局施設見学者数(人)	1,574	239	372	611	136	(40)	(787)

【特記事項】

- 第二種電気主任技術者免状は、令和3年度試験に合格した1名が交付を受けました。
- 第一種ダム水路主任技術者の資格取得に向け、県土整備部のダム点検に同行し経験を積み取り組みを進めており、今年度は1名が申請に向けた準備を行っています。
- 施設見学者数は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、行動制限が緩和されたことなどにより、**例年の半数近くまで回復する見込み**です。

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容	進捗	成果	取組内容	進捗	成果	
① 職員採用・人事交流と組織体制の整備	ア	a	③ ワーク・ライフ・バランスの確保		a	
	イ	a		イ		a
	ウ	a		ウ		a
	エ	a	④ 広報活動	ア		a
② 災害への対応体制の確立		イ			A	
イ	a					

注) 成果状況 a：目標とした成果を達成した b：(複数の取組目標を設定している場合)a判定のものとc判定のものが両方ある場合

c：目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 人材の確保・育成

- リクルート活動の一環として、**県内の学校に企業局職員を講師として派遣し業務説明を行いました。また、インターンシップとして2名の大学生を受入れ、5日間にわたって企業局業務の内容を説明しました。**
- 新たに2名が、第二種電気主任技術者の資格取得の前提となる第三種電気主任技術者の免状交付を受けました。
- 新採用職員研修は、所属にかかわらず共通する事項を研修項目として取り込み5日間実施しました。
- 新任職員研修のうち座学研修はこれまでの集合形式ではなく、あらかじめ収録した講義動画を各自が一定期間内に視聴する方法を試行し、概ね好評でした。

② 危機管理対策、リスクマネジメント

- 1) 岩手県建設業協会と締結している「災害時における県営発電施設の応急対策業務に関する協定」について、対象とされていなかった3発電所を追加し、全ての発電施設の応急対策業務に係る協力を構築しました。
- 2) 地震による被害を想定した災害対応訓練（被害想定、復旧計画概略策定、災害対応模擬訓練、情報伝達訓練）を実施し、災害対応力の維持・強化を図りました。

③ 職場環境の充実

4月から電子決裁・文書管理システムの運用を開始したほか、ペーパーレス会議の拡大、メンタルヘルス巡回相談の実施、サテライトオフィスの設置など、企業局働き方改革ロードマップに基づく各取組を進め、効率的な業務遂行や働きやすい職場環境の実現に向けた取組を進めました。

④ 企業局事業の理解促進

- 1) 今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、施設見学の受入れを7月21日から9月30日まで休止しましたが、10月3日から再開しています。
- 2) 施設見学会は、一定の制限を設けたうえで開催を予定しておりましたが、全国的な新型コロナウイルス感染症の急拡大を考慮し、中止としました。
- 3) 企業局のイメージキャラクターである『みずりん・みどりん』を活用した企業局職員によるPR隊（みずりん・みどりんお知らせ隊）を組織し、稲庭高原風力発電所竣工式や全国植樹祭1年前記念イベントにおいて、企業局事業のPRを行いました。また、みずりん・みどりんをデザインしたPRグッズ（ティッシュ、缶マグネット、エコバッグ等）を作成して施設見学者に配布し、積極的な情報発信に努めました。
- 4) 「企業局施設カード」を活用したPR事業にも取り組んでいます。関係機関と連携して配布場所を増やすなどPR効果の向上に努めた結果、11月末時点で配布枚数が12,968枚と、令和2年度及び令和3年度の配布枚数を上回っており、企業局事業の認知度向上に貢献しています。

(3) 主な課題と今後の対応

① 人材の確保・育成

- 1) 職員採用については、積極的なリクルート活動により人材確保に努めるとともに、業務を円滑に推進するため、必要な組織体制の整備や適正な人員配置に努めます。
- 2) 第二種電気主任技術者や第一種ダム水路主任技術者の資格取得に向けて、局内の支援・奨励による取得者数の更なる確保・育成を目指します。
- 3) 「企業局職員育成ビジョン」に基づき、専門性と経営感覚を備えた意識・能力の高い職員の養成に取り組んでいきます。

② 危機管理対策、リスクマネジメントの取組

災害応急対策マニュアルや協定などを、必要に応じて見直します。

③ 職場環境の充実

- 1) 「企業局働き方改革ロードマップ」に基づき、ワーク・ライフ・バランスの確保や働きやすい職場環境の実現に向けた取組を進めます。
- 2) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、基本的な感染対策の徹底を継続します。

④ 企業局事業の理解促進

新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ、より効果的な企業局事業の理解促進に繋がるよう、施設見学やみずりん・みどりんお知らせ隊など広報の実施手法について検討します。

令和4年度 経営評価総括表 [実績見込]

3 組織力向上と地域貢献

(取組の方向性) (2)地域貢献

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(t以上/年)	実績(t以上/年)	達成度
地域貢献による温室効果ガス削減量	120	(153.6)	A

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満

参考指標	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]クリーンエネルギー導入支援事業の支援金額(千円)	23,000	0	0	0	14,597	(24,729)	(39,326)
[参考]クリーンエネルギー導入支援事業の支援件数(件/年)	9	0	0	0	5	(9)	(14)
[参考]植樹活動支援事業の支援金額(千円)	2,300	1,430	592	2,023	200	(400)	(2,623)
[参考]植樹活動支援事業の支援件数(件/年)	13	7	4	11	1	(2)	(14)

【特記事項】

市町村の環境意識の高まりにより、クリーンエネルギー導入支援事業において多くの申請があったため、温室効果ガス削減量に係る経営目標は達成する見込みです。

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容			進捗	成果	取組内容			進捗	成果
①	ア	小売電気事業者と連携した取組	△	b	②	ア	クリーンエネルギー導入促進事業(市町村等向け補助事業)	△	a
	イ	一般会計への繰出し	△	a		イ	環境保全・クリーンエネルギー導入促進事業向け一般会計への繰出し	△	a
						ウ	市町村等が行う植樹活動への支援	△	a
					③	水素利活用への取組	△	a	

注) 成果状況 a: 目標とした成果を達成した b: (複数の取組目標を設定している場合)a判定のものとc判定のものが両方ある場合

c: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 電力供給を通じた地域貢献

- 東北電力株式会社と連携して取り組んでいるいわて復興パワーは、12月末時点で671件(kWhベースの利用率: 71.1%)と多くの県内事業者様に活用いただいております。エネルギー価格が高騰する現状において、電気料金の割引という形で地域に貢献しています。また、いわて復興パワー水力プレミアムによるCO<sub>2</sub>フリー電気の供給企業等は12月末時点で29件となっています。
- 久慈地域エネルギー株式会社と連携して取り組んでいるアマリングリーンでんきによる地産地消CO<sub>2</sub>フリー電気の供給企業等は、12月末時点で38件となっています。

② 地球温暖化防止に向けた取組

- クリーンエネルギー導入支援事業では、市町村実施する14件の再生可能エネルギーまたは省エネルギー設備導入事業を支援する見込みです。
- 植樹活動支援事業では、14件の事業を支援する見込みです。うち4件は企業局職員も参加して植樹活動を行いました。また、令和5年度に岩手県で開催される全国植樹祭の1年前記念イベントに苗木の提供を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、支援を予定していた豊沢川の森・市民植樹祭2022、旧松尾鉾山跡地緑の再生活動及び北上市植樹体験会の3件が中止となりました。

③ 水素利活用推進プロジェクト

「環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金」を活用し、環境生活部が実施する令和4年度「水素利活用による再生可能エネルギー推進事業」に財政支援を行っています。

(3) 主な課題と今後の対応

① 電力供給を通じた地域貢献

- 1) いわて復興パワーについて、需要家の電気料金の負担軽減に寄与することができるよう、適用の拡大に向けて東北電力株式会社と協議を継続します。
- 2) いわて復興パワー水力プレミアムについて、企業局から供給する電力量を上限として運用していますが、供給可能量に余裕があるため、東北電力株式会社や関連部局と連携しながら PR に取り組み、活用促進を図っていきます。

② 地球温暖化防止に向けた取組

令和5年度に開催される全国植樹祭に協賛品として3,000本以上の苗木の提供を予定しているほか、式典会場の「おもてなし広場」に企業局単独でブース出展する予定です。植樹事業の目的である温室効果ガスの削減及び水源涵養に加え、企業局事業の認知度向上が図られるよう、運営に協力していきます。

③ 水素利活用推進プロジェクト

県の水素利活用に関する検討会議に参加し取組の方向性や今後の動向に関する情報収集を行いつつ、引き続き「環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金」を活用した財政支援に取り組みます。

令和4年度 経営評価総括表 [実績見込]

【補足説明資料】

1 電気事業

① 供給電力量電源別内訳(百万 kWh)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
水力	計画	207	116	323	95	119	537
	実績	202	164	366	(55)	(76)	(497)
	達成率	97%	142%	113%	(58%)	(64%)	(93%)
風力	計画	14	9	23	16	17	56
	実績	16	11	27	(15)	(17)	(59)
	達成率	111%	122%	116%	(97%)	(100%)	(106%)
太陽光	計画	0.47	0.41	0.88	0.24	0.19	1.30
	実績	0.54	0.45	0.99	(0.30)	(0.28)	(1.56)
	達成率	115%	110%	113%	(128%)	(143%)	(120%)
合計	計画	222	125	347	111	136	594
	実績	218	176	394	(70)	(93)	(558)
	達成率	98%	140%	113%	(64%)	(69%)	(94%)

各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、表中の数字で計算した場合、合計や達成率が一致しない場合があります。

② 気象データ(%)

	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
出水率	97%	134%	112%	74%	(100%)	(103%)
降水量年比	94%	124%	113%	83%	(100%)	(104%)
平均風速年比	99%	104%	101%	91%	(100%)	(97%)
日射量年比	106%	96%	101%	106%	(100%)	(102%)

③ 供給停止\*件数の過去平均と原因別比較(件)

	H22-H30 平均	R2	R3	R4	R5
人的ミス等	1	1	2	(1)	
設備不良等	2	4	2	(5)	
合計	3	5	4	(6)	

\*供給停止：人的ミスや設備不良など、企業局の責による理由で、計画した電力の供給ができないこと

④ 発電所建屋等の耐震化工事(箇所)

	R1 まで	R2	R3	R4	R5
計画	—	2	2	—	—
実績	16	2	1	1	
達成率	80%	90	95	100	

⑤ 電力土木施設の耐震診断(箇所)

	R1 まで	R2	R3	R4	R5
計画	—	2	5	3	2
実績	25	2	5	2	
達成率	68%	73	86	92	

令和4年度 経営評価総括表 [実績見込]

⑥ 電力料収入(百万円、税抜)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
水力	予算	1,615	1,472	3,087	1,374	1,385	5,846
	実績	1,614	1,541	3,155	(1,301)	(1,365)	(5,822)
	達成率	100%	105%	102%	(95%)	(99%)	(100%)
風力	予算	319	199	518	354	359	1,232
	実績	332	246	579	(328)	(359)	(1,266)
	達成率	104%	124%	112%	(93%)	(100%)	(103%)
太陽光	予算	17	14	31	10	10	51
	実績	19	16	35	(11)	(10)	(56)
	達成率	113%	111%	112%	(110%)	(102%)	(110%)
合計	予算	1,951	1,686	3,637	1,738	1,754	7,129
	実績	1,966	1,803	3,769	(1,640)	(1,734)	(7,144)
	達成率	101%	107%	104%	(94%)	(99%)	(100%)

各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、表中の数字で計算した場合、合計や達成率が一致しない場合があります。

⑦ 収入・支出の状況(百万円、税抜)

	経営計画	予算額	決算額	
経常収益	6,937	7,405	(7,442)	(経常収益=電気事業収益-特別利益)
経常費用	5,482	6,142	(5,779)	(経常費用=電気事業費用-特別損失-予備費)
経常利益	1,455	1,263	(1,663)	(経常利益=経常収益-経常費用)

2 工業用水道事業

① 実使用水量(千m<sup>3</sup>)

	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
計画	2,357	2,384	4,741	2,379	2,396	9,516
実績	2,308	2,703	5,011	2,362	2,239	9,612
達成率	97.9%	113.4%	105.7%	99.3%	93.4%	101.0%

② 料金収入(百万円、税抜)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
一般給水	予算	157	159	316	159	159	634
	実績	157	165	322	164	159	645
	達成率	100.0%	103.8%	101.9%	103.1%	100.0%	101.7%
ろ過給水	予算	52	53	105	51	52	208
	実績	52	53	105	52	51	208
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	102.0%	98.1%	100.0%
合計	予算	209	212	421	210	211	842
	実績	209	218	427	216	210	853
	達成率	100.0%	102.8%	101.4%	102.9%	99.5%	101.3%

③ 収入・支出の状況(百万円、税抜)

	経営計画	予算額	決算額	
経常収益	985	887	(900)	(経常収益=工業用水道事業収益-特別利益)
経常費用	901	884	(883)	(経常費用=工業用水道事業費用-特別損失-予備費)
経常利益	84	3	(17)	(経常利益=経常収益-経常費用)



## 令和6年度からの次期売電契約における県内新電力の参加資格要件の緩和について

○ 令和6年度からの非FIT発電所の売電先の選定について、令和5年7月頃に公募型プロポーザルを行う予定としています。この選定に当たっては、**県内枠の参加資格要件を緩和**する方向で検討中です。

### 1 現状

#### (1) 売電先選定の基本方針

岩手県企業局では、非FIT発電所の売電先を選定するに当たり、「**電力自給率の向上**」「**安定経営**」「**地域貢献**」を目的とする選定の基本方針を定めています。

#### (2) 県内枠の設定

この方針に基づき、地域内経済の循環による地域社会の活性化に貢献するため、**県内の小売電気事業者枠（県内枠）**を設定しています。

#### (3) これまでの売電先の選定概要

選定方法	公募型プロポーザル方式
供給条件	全量を県内に供給すること
参加資格要件 (主なもの)	<p>一般枠：① 最近1年間の岩手県内における電灯電力等需要実績が、年間基準電力量を超えていること</p> <p><b>県内枠</b>：① 最近1年間の岩手県内における電灯電力等需要実績が、年間基準電力量を超えていること</p> <p>② 小売電気事業者登録において、主たる営業所が岩手県内にあること</p>

#### (4) 現在の契約状況（令和4年度～5年度分）

発電所名	年間基準電力量 <sup>※</sup>	募集枠	売電先
胆沢第二など 12水力発電所	544,495千kWh/年	一般枠	東北電力(株)
滝	2,371千kWh/年	<b>県内枠</b>	久慈地域エネルギー(株)
早池峰	7,418千kWh/年	<b>県内枠</b>	参加者なし→東北電力(株)
その他6発電所	FIT制度による東北電力ネットワーク(株)への売電		

※ 供給予定量であり、参考値

### 2 要件緩和の検討

#### (1) 課題

これまで2回のプロポーザルを実施しましたが、県内枠においては**参加資格要件①**がネックとなり、早池峰発電所は参加者なしとなっており、県内枠の設定目的である地域社会の活性化が達成されていない状況です。

#### (2) 要件緩和

県内の小売電気事業者の参加を容易にするため、県内枠の参加資格要件①について、次のとおり見直す方向で検討しています。

ア 県内枠の参加資格については、**需要実績に関する要件を外して**、全量県内供給を達成できる具体的な供給計画を有していれば参加可能とします。

イ 契約後定期的に県内供給の実績報告を求め、**履行状況を確認**します。履行状況は、次の選定の際の資料とします。

#### 【県内枠の参加資格要件の見直し】

現行	見直しの方向性
① 最近1年間の岩手県内における電灯電力等需要実績が、年間基準電力量を超えていること	① 契約期間を通じて年間基準電力量を超える電灯電力等需要への供給計画を有すること
② 小売電気事業者登録において、主たる営業所が岩手県内にあること	② 同左



## 令和 5 年度経営評価委員会の審議事項について

中期経営計画の策定並びにその進行管理及び評価に当たり、経営計画推進会議による内部評価、経営評価委員会による外部評価を行っているところ。

次年度は第 2 期中期経営計画の策定を行うことから、第 1 期中期経営計画の終了時点である令和 5 年度末の状況を見越したうえで検討を進めるため、以下のスケジュールでご審議をいただくこととしたい。

## 令和 4 年度

時期	経営計画推進会議	経営評価委員会
4月 月上旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容一覧審議</li> <li>年間スケジュール</li> </ul>	
7月 月上旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度評価</li> <li>第 1 四半期評価</li> </ul>	
7月 月下旬		<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度決算報告</li> <li>前年度評価</li> <li>第 1 四半期評価</li> </ul>
10月 月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>上半期評価</li> </ul>	
11月 月中旬		<ul style="list-style-type: none"> <li>上半期評価</li> </ul>
1月 月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度末見込評価</li> </ul>	
2月 月中旬		<ul style="list-style-type: none"> <li>年度末見込評価</li> </ul>

## 令和 5 年度

経営計画推進会議	経営評価委員会
<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容一覧審議</li> <li>年間スケジュール</li> <li><u>次期中期経営計画</u> について</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度評価</li> <li><u>次期中期経営計画</u> について</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度決算報告</li> <li>前年度評価</li> <li><u>取組内容一覧報告</u></li> <li><u>次期中期経営計画</u> について</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>上半期評価</li> <li><u>次期中期経営計画</u> について</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>上半期評価</li> <li><u>次期中期経営計画</u> について</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>年度末見込評価</li> <li><u>次期中期経営計画</u> について</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度末見込評価</li> <li><u>次期中期経営計画</u> について</li> </ul>

令和4年度 取組内容一覧表

参考資料1

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	R4本庁とりまとめ
1 電気事業				
(1)「運転年数100年」を実現するための基盤づくり				
① 施設の強靱化及び大規模災害への備え				
ア 年度別事業実施計画に基づく修繕・改良の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>【仙人】水車発電機分解点検補修・大規模改良工事（R3～R5）の進捗管理（2号機の完成）</li> <li>【松川】水車発電機分解点検補修等工事（R4～R6）の契約締結</li> <li>【北ノ又】配電盤及び33kVキュービクルほか更新工事（R3～R5）の進捗管理（機器製作の開始）</li> <li>【北ノ又第二】配電盤ほか更新工事（R4～R6）の契約締結</li> <li>【北ノ又第二】33kV連絡線更新工事（R3～R5）の進捗管理（ケーブル製作の開始）</li> <li>【施設総合管理所】大物倉庫他建替工事（R3～R4）の完成</li> <li>【県南施設管理所】事務所増築等工事（R3～R4）の完成</li> </ul>	1	電気	
イ 電力土木施設等の長寿命化対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>【仙人】コンクリート構造物補修設計業務の完了</li> <li>【岩洞第二】濁川サイフォン内外面点検の完了</li> <li>土木担当職員の技術向上を目的とした研修会の開催</li> <li>長寿命化検討会議の実施による、新たな技術的課題の抽出及び情報共有</li> </ul>	2	土木	
ウ-1 耐震化計画の推進（発電所建屋等の耐震化工事）	<ul style="list-style-type: none"> <li>【仙人】耐震化工事の完成</li> </ul>	3	土木	
ウ-2 耐震化計画の推進（電力土木施設の耐震診断）	<ul style="list-style-type: none"> <li>2施設（岩洞第二水圧鉄管、水路橋）の耐震診断の完了</li> </ul> <p>※中期経営計画（第1期）において、令和4年度の取組は3施設となっているが、令和4年度に予定していた四十四田発電所取水塔については、国土交通省が進めている四十四田ダム再生事業と関連することから、今年度の実施を見送ることとしたもの。</p>	4	土木	
② 適切な保守管理の実施				
ア 適切な保守作業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気主任技術者による保安指導の実施（保安パトロール等）</li> <li>【高森高原】【稲庭高原】環境モニタリング事後調査業務委託の完了</li> <li>令和4年度実施予定の工事等に係る河川法許可の取得</li> <li>定期点検等における関係者との事前協議の徹底（作業・工事内容に関する事前打合せ・連絡の実施）</li> <li>各発電所の特性に関する重要引継事項についての課内研修の実施（年度当初）</li> <li>保安規程等に基づく計画的な保守作業の実施（点検手入れ計画表の点検項目を全て実施）</li> </ul>	5	電気	
イ 風水害への備え	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然災害の危険箇所追加調査の実施（全施設）</li> <li>【北ノ又】発電所構内排水施設等改良工事の完成</li> <li>【北ノ又第二】地すべり対策復旧工事の完成</li> </ul>	6	土木	
ウ マニュアル等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設更新等に伴う保守要則の改定</li> </ul>	7	電気	
③ 新技術の活用				
ア-1 新技術の導入(IoT)	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回支援や遠方監視制御装置との連携など、データを効率的に収集するシステムの構築に向けた検討（タブレット点検表の試験導入）</li> </ul>	8-1	電気	
ア-2 新技術の導入(ドローン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>垂直ドローン、水面ドローン調査の試行</li> </ul>	8-2	土木	
イ 発電所遠方監視制御装置のIP化				
④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携				
ア 農業用水の安定供給に向けた機能維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩洞ダム共有施設の改良工事（国営岩手山麓農業水利事業）の推進、事業費の適切な管理（年度協定に基づく負担金の支払い完了）</li> <li>農業用水の安定供給（営農に支障をきたす長期供給支障が無いこと）</li> <li>若柳堰堤ゲート自動制御装置更新工事の完成</li> </ul>	10	土木	
イ 河川管理者等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>北上川上流ダム再生事業に伴う発電所への影響確認（北上川ダム統合管理事務所との協議実施）</li> </ul>	11	土木	
ウ 発電所共同運転事業者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>和賀川河川環境保全事業の実施</li> <li>電源開発(株)との共有施設の点検及び工事に関する調整（今年度実施事項の確認、次年度業務実施計画の決定）</li> <li>東北自然エネルギー(株)との共有施設の点検及び工事に関する調整（共同運転会議による実施事項の確認）</li> </ul>	12	電気	

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	R4本庁とりまとめ
(2) 再生可能エネルギーの維持拡大				
① 新規開発の推進				
ア 築川発電所の建設				
	イ-1 新規開発に向けた調査等 (水力発電)	・新規開発地点の現地状況の確認 ・新規開発候補地点の選定	14-1	土木
	イ-2 新規開発に向けた調査等 (水力発電以外)	・洋上風力発電などに関する検討会議への参加及び取組の方向性や今後の動向に関する情報収集の実施	14-2	企画
② 再開発の推進				
	ア 胆沢第二発電所	・代替放流設備設置（土木）工事（R3～R5）の現地工事着手 ・代替放流設備設置（電気機械）工事（R4～R5）の契約締結、現地工事着手 ・水車発電機等更新工事の進捗管理（図面等承諾） ・水車発電機基礎構築設計業務の完了	15	土木
	イ 入畑発電所	・水車発電機等更新工事の進捗管理（図面等承諾） ・水車発電機基礎構築設計業務の完了	16	電気
	ウ 稲庭高原風力発電所	・FIT売電契約の締結 ・新風車に係る機器据付、試験調整の完了、営業運転の開始 ・使用前安全管理審査ほか保安関係手続の完了	17	電気
	エ 再開発の検討	・既設発電所の土木設備改修検討業務の完了	18	電気
(3) 経営環境の変化に対応した安定経営				
① 適正な収入の確保				
	ア 適正な売電価格の確保	・非FIT水力発電所の令和6年度以降の売電契約に向けた調査・検討 ・令和8年度容量確保契約の締結	19	電気
	イ-1 供給電力量の向上に向けた取組（点検周期等見直し）			
	イ-2 供給電力量の向上に向けた取組（高効率機器の導入）	・【仙人】1号ランナ新製工事(R3～R5)の進捗管理（図面承諾） ・【仙人】2号ランナ新製工事(R2～R4)の完成・納品	21	電気
	ウ 地域新電力との協働・連携	・現売電契約による協働・連携の実施 (経営状況、県内供給状況、プロポーザル提案事項の確認)	22	電気
② 経営の効率化				
	ア 業務の効率化	・新たな技術的課題の抽出及び情報共有に向けた技術担当課長会議（4回）及び保守担当者会議（2回）等の実施 ・年間作業停止計画の策定（関係機関との調整による発電所の効率的な運用）	23	電気
	イ 経費の平準化	・長期的な収支を考慮した10か年計画の改定	24	電気
③ 電力の新たな付加価値の検討				
	ア 電力の新たな付加価値に関する情報収集等	・情報収集、調査等の実施・共有 (他県等の状況把握など)	25	企画

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	R4本庁とりまとめ
2	工業用水道事業			
	(1) 良質な工業用水の安定供給			
	① 施設の強靱化及び大規模災害への備え			
	ア 第三浄水場加圧脱水機更新			
	イ 第二浄水場配水管布設工事	・配水管更新（1-3工区）工事の完成	27	事業
	ウ 第二浄水場天日乾燥床増設工事	・天日乾燥床増設工事の完成	28	事業
	エ 金ヶ崎ろ過施設（第二期）高圧受電設備更新等工事	・高圧受電設備更新等工事の完成	29	事業
	オ その他修繕・改良工事等	・第一浄水場配水管（1-7工区）布設工事の完成 ・第三浄水場ほか配水管（1-7工区）布設工事の完成 ・北上ろ過施設導水管本復旧工事の完成	30	事業
	② 適切な保守管理の実施			
	ア 適切な保守作業の実施	・工業用水道施設維持管理要領の改定 ・工業用水道施設維持管理要領に基づく各施設の計画的な点検及び作業等の実施（点検項目を全て実施）	31	事業
	イ 適切な水質管理の実施	・工業用水道施設維持管理要領に基づく各施設の計画的な水質計器等の保守管理の実施（点検項目を全て実施） ・水質異常に対する訓練等の実施 ・油流出事故防止活動の実施	32	事業
	ウ トラブル発生時の対応	・トラブル対応訓練の実施	33	事業
	③ 新技術の活用			
	ア 新技術導入の検討	・先進事例等の情報収集・共有	34	事業
	(2) 新たな水需要への対応			
	水需要に応じた施設の整備			
	施設・設備の整備	・新北上浄水場建設工事の完成 ・取水口建設工事の完成 ・配水管布設工事の完成	35	事業
	(3) 安定的な事業運営			
	① 経営の効率化			
	ア 業務の効率化	・複数施設の委託業務の合冊発注等による業務の効率化の実施	36	事業
	イ 経費の平準化	・長期的な収支を考慮した年度別事業実施計画の改定	37	事業
	ウ 効率的な経営のあり方についての検討	・金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジングに向けた配水池改良基本・詳細設計業務委託の完了	38	事業
	② 適切な収入の確保			
	ア 契約水量の維持・増量に向けた取組	・ユーザー企業への訪問 ・新規契約・増量企業等の給水手続きの迅速な対応	39	事業
	イ 改良費に対する補助金や公営企業債の要望	・国庫補助金や公営企業債枠の拡大を国へ要望 ・企業債の借入等	40	事業

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	R4本庁とりまとめ
3	組織力向上と地域貢献			
	(1) 組織力向上			
	① 人材の確保・育成			
	ア 職員採用・人事交流と組織体制の整備	・インターンシップや業務説明等の実施、知事部局等との人事交流により必要な人材を確保 ・令和5年度の業務運営に最適な組織体制を確保	41	管理
	イ 有資格者の計画的な確保・育成	・資格取得の支援・奨励により資格取得者の確保・養成 ・知事部局等との人事交流を継続し人材を確保	42	管理
	ウ 人材育成・技術継承	・専門研修実施計画に基づく職場研修や局全体対象の現場研修及び関係部局と連携した研修の実施、職場外研修の受講	43	管理
	エ 経営力の強化	・経営に関する研修、マネジメント支援プログラムの実施	44	管理
	② 危機管理対策、リスクマネジメントの取組			
	ア 災害への対応体制の確立	・災害応急対応訓練の実施	45	管理
	イ リスクマネジメント	・重要なリスクや対応状況などの管理台帳の更新、局内で情報共有	46	企画
	③ 職場環境の充実			
	ア ワークライフバランスの確保	・ワークライフバランスの実践など働き方改革の推進に向けた取組の実施（業務改善、タイムマネジメント、自己研鑽意欲の向上、フレックスタイム制度導入や在宅勤務の活用促進等） ・局長等と職員との意見交換会の実施 ・職員の不安や悩みの軽減に資するメンタルヘルス・健康推進事業等の実施	47	管理
	イ 職場の働きやすさ向上	・企業局働き方改革ロードマップに基づく各取組の実施（ペーパーレス会議の拡大、電子決裁・文書管理システムの運用開始、業務の省力化、柔軟な働き方が出来る執務環境の整備等） ・【早池峰】発電所等への女性用トイレの整備 ※中期経営計画（第1期）において、令和4年度の取組は2施設となっているが、令和4年度に予定していた仙人発電所の屋外トイレについては、共同事業者（東北自然エネルギー（株））との協議により、撤去することとしたもの。	48	管理
	ウ 安全衛生対策の充実	・安全パトロール、労働災害無事故表彰の実施 ・職員安全衛生委員会の開催 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の実施	49	管理
	④ 企業局事業の理解促進			
	ア 広報活動（PRグッズ配布、『みずりん・みどりん』によるPR）	・『みずりん・みどりんお知らせ隊』によるイベントへの参加及びPRグッズの作成・配布などを通じた積極的な情報発信の実施	50	企画
	イ 企業局施設での見学者の受け入れ、施設見学会の開催	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を考慮した施設見学会及び随時の見学者受け入れの実施可否の判断、適切な対策の実施	51	企画
	(2) 地域貢献			
	① 電力供給を通じた地域貢献			
	ア 小売電気事業者と連携した取組	・いわて復興パワー（電気料金割引）の対象拡大 ・小売電気事業者及び関係部局と連携したPRの実施 ・小売電気事業者と連携したCO <sub>2</sub> フリーの電力の県内企業等への供給	52	企画
	イ 一般会計への繰出し	・一般会計への繰出しによる震災復興及びふるさと振興関連施策の財政的支援の実施	53	企画
	② 地球温暖化防止に向けた取組			
	ア クリーンエネルギー導入促進事業（市町村向け補助事業）	・県内のクリーンエネルギーの導入促進及び普及啓発に向けた市町村等に対する補助金の交付	54	企画
	イ 環境保全・クリーンエネルギー導入促進事業向けの一般会計への繰出し	・県内の環境保全やクリーンエネルギーの導入促進に向けた一般会計への繰出しによる財政的支援の実施	55	企画
	ウ 市町村等が行う植樹活動への支援	・水源涵養の促進及び環境保全活動を実施する市町村等に対する苗木の提供や職員参加による支援の実施 ・令和5年度全国植樹祭に向けた関係部局との調整	56	企画
	③ 水素利活用推進プロジェクト			
	ア 水素利活用への取組	・県の水素利活用に関する検討会議への参加及び取組の方向性や今後の動向に関する情報収集の実施	57	企画